

水抜き後の再使用のとき

1 貯湯ユニットの配管カバーのねじ(4か所)を外し、配管カバーを開ける

2 すべての水抜き栓・過圧防止安全装置・排水バルブ・給湯栓が閉まっていることを確認する
(☞P109)

3 貯湯ユニットのメンテバルブ高温 [2]・低温 [3]の「閉」を確認する
「開」の場合は「閉」にしてください。

4 給水元栓を全開にする

5 燃料電池ユニットのガス栓と貯湯ユニットのガス栓を全開にする

6 燃料電池ユニット専用のブレーカーと、貯湯ユニットの電源(ブレーカーまたは電源プラグ)を「入」にする

7 運転モードの「発電切」を確認する(☞P70)

8 【貯湯ユニットの水張りをする】

- 1) 浴槽の排水栓が開いていることを確認する
- 2) 全ての暖房運転が「切」であることを確認する
- 3) 給湯スイッチが「切」であることを確認する

4) を押し、 で **その他設定** を選択し を押す

5) で **機器の水張り** を選択し を押す

6) **貯湯ユニット** が選択されていることを確認し を押す

7) 「機器の水張りをしますか?」の表示を確認し、 で「はい」を選択し を押す

【水張り中の表示】

貯湯ユニット
水張り中

- * 浴槽の循環アダプターから水が出たり止まったりしますが、異常ではありません。
- * 水張り中にリモコンの給湯スイッチを「入」にすると水張りがキャンセルされます。

9 手順8の7)の操作から約30分以上経過後、「貯湯ユニット水張り中」表示が消えていることを確認する(給水圧により短時間の場合もあります。)

10 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、貯湯ユニットや配管から水漏れがないかよく確認する

11 【燃料電池ユニットの水張りをする】

1) 以下を確認する

- * 貯湯ユニットの水張りが完了していること
 - * リモコンの給湯スイッチが「切」であること
 - * 発電モードの「発電切」を確認する
- 燃料電池ユニットの水張りをおこなっていない状態で発電モードを「発電切」以外を選択すると故障表示「O2F」が出ます。この時は発電モードを「発電切」にし、給湯スイッチを「切」にし、2~3秒あけてから再度「入」にしてください。

2) 貯湯ユニットのメンテバルブ高温 [2]・低温 [3]を「開」にする

3) を押し、 で **その他設定** を選択し を押す

4) で **機器の水張り** を選択し を押す

5) で **燃料電池ユニット** を選択し を押す

6) 「機器の水張りをしますか?」の表示を確認し、 で「はい」を選択し を押す

【水張り中の表示】

燃料電池ユニット
水張り中

12 手順11の6)の表示が出てから約30分以上経過後、「燃料電池ユニット水張り中」表示が消えていることを確認する(水張り完了)

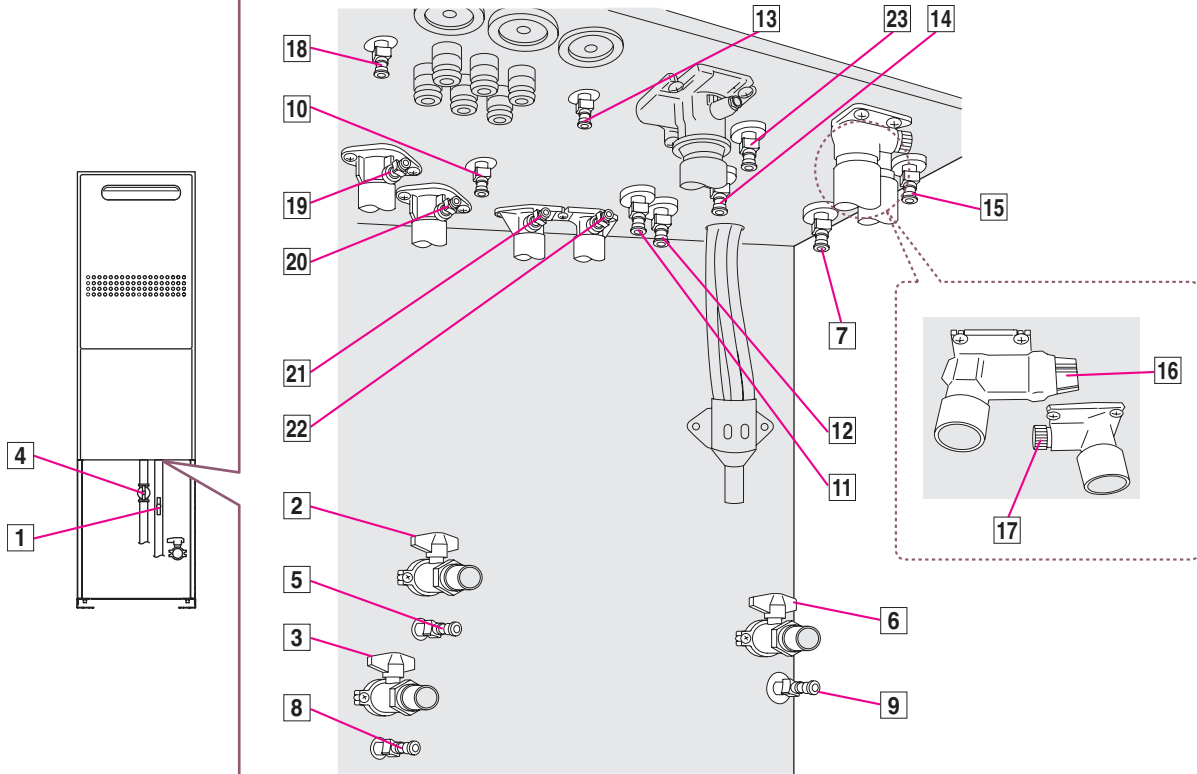
13 配管カバーを元どおり取り付け

14 運転モードを「発電切」以外に設定する
(☞P67~69, 71)

15 ポンプの呼び水をする(☞P28の操作8)

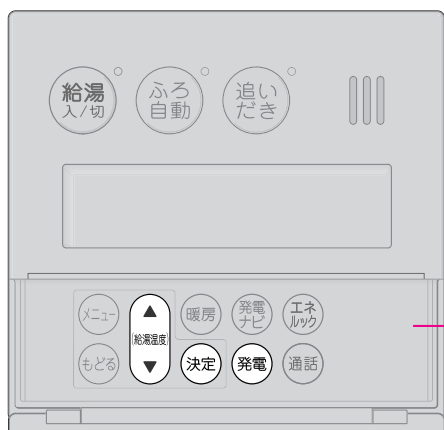
- * 通水後初めての暖房・ふろ使用で、リモコンに故障表示「543」「173」が出る場合
- 端末機側の運転と給湯スイッチをいったん「切」にし、貯湯ユニットの給水元栓が開いていること・すべての水抜き栓、給水水抜き栓、過圧防止安全装置、排水バルブ(☞P108の操作17)が閉まっていることを確認し、電源(ブレーカーまたは電源プラグ)を「切」にし再度「入」にして、再使用してください。

各水抜き栓・給水水抜き栓・過圧防止安全装置は、配管の保温材に隠れて見えにくいことがあります



発電モードを変更する-1

【台所リモコン】



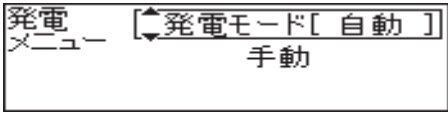

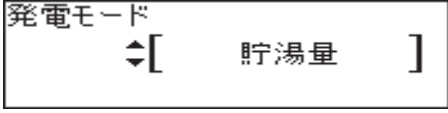
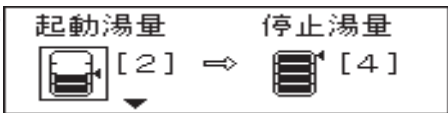
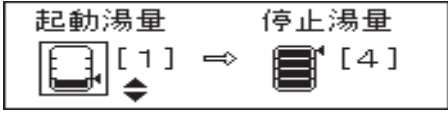
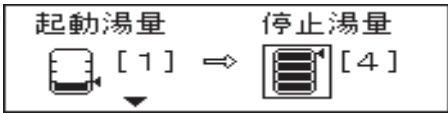
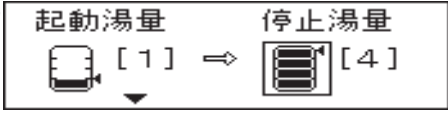
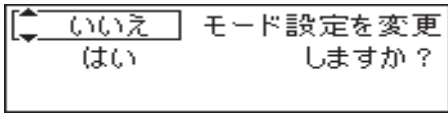
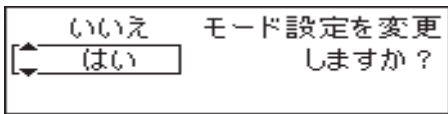
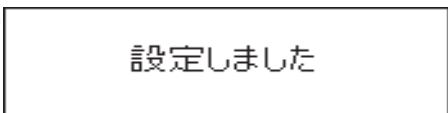


- * 自動発電、貯湯量発電、予約発電、発電切のいずれかに設定します。(詳しくはP63)
- * 台所リモコンで設定できます。

自動発電に設定する

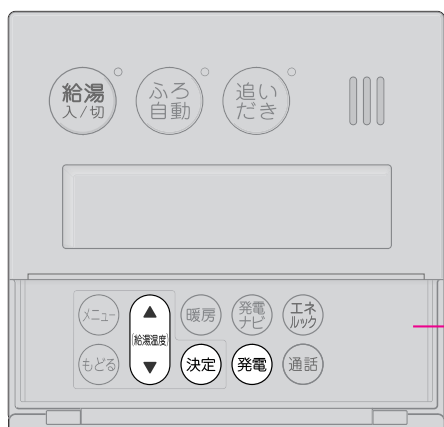
操作	操作後の画面	お知らせ
1 ふたの中の 発電 を押す		* 給湯入/切 の「入」「切」に関係なく、設定できます。
2 「発電モード」が選択されていることを確認し、 決定 を押す		
3 「自動」が選択されていることを確認し、 決定 を押す		
4 ① 給湯温度 の ▼ で「はい」を選択する ② 決定 を押す 【自動発電設定完了】	① ②	* 画面が発電メニューに戻り、 給湯入/切 「入」時は約10秒後トップ画面に戻ります。 (発電中のトップ画面例)

発電モードを変更する-2

貯湯量発電に設定する

操作	操作後の画面	お知らせ
1 ふたの中の 発電 を押す		* 給湯 の「入」「切」に関係なく、設定できます。
2 「発電モード」が選択されていることを確認し、 決定 を押す		
3 ① 給湯温度 で「貯湯量」を選択する ② 決定 を押す	①  ②  (例：起動湯量2、停止湯量4)	* 起動湯量：貯湯槽の湯量がこの設定湯量まで少なくなると発電を起動(開始)する湯量です。 * 停止湯量：貯湯槽の湯量がこの設定湯量までたまると発電を停止する湯量です。停止湯量になってもしばらく発電を続ける場合があります。
4 ① 給湯温度 で起動湯量を設定する ② 決定 を押す	①  (例：起動湯量1) ②  (例：起動湯量1、停止湯量4)	
5 ① 給湯温度 で停止湯量を設定する ② 決定 を押す	①  (例：停止湯量4) ② 	* 起動湯量によって設定できる範囲が変わります。 起動湯量=0 → 停止湯量=2以上 起動湯量=1 → 停止湯量=3以上 起動湯量=2 → 停止湯量=4
6 ① 給湯温度 の 決定 で「はい」を選択する ② 決定 を押す 【貯湯量発電設定完了】	①  ② 	* 画面が発電メニューに戻り、 給湯 「入」時は約10秒後トップ画面に戻ります。   (発電中のトップ画面例)

【台所リモコン】



ふたを開けた状態

予約発電に設定する

操作	操作後の画面	お知らせ
<p>1 ふたの中の 発電 を押す</p>		<p>* 給湯入/切 の「入」「切」に関係なく、設定できます。</p>
<p>2 「発電モード」が選択されていることを確認し、決定 を押す</p>		
<p>3</p> <p>① 給湯温度 で「予約」を選択する</p> <p>② 決定 を押す</p>	<p>① 発電モード [予約]</p> <p>② 開始時刻 終了時刻 AM 8:00 ~ PM 11:00 (例：開始時刻午前8時、終了時刻午後11時)</p>	
<p>4</p> <p>① 給湯温度 で開始時刻を設定する</p> <p>② 決定 を押す</p>	<p>① 開始時刻 終了時刻 AM 11:00 ~ PM 11:00 (例：午前11時)</p> <p>② 開始時刻 終了時刻 AM 11:00 ~ PM 11:00 (例：開始時刻午前11時、終了時刻午後11時)</p>	<p>* 30分きざみで設定できます。 * 決定 でカーソルが移動します。</p>

(つづく)

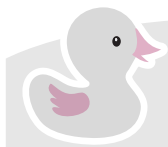
発電モードを変更する-3

(つづき)

操作	操作後の画面	お知らせ
<p>5</p> <p>① で終了時刻を設定する</p> <p>② を押す</p>	<p>① </p> <p>(例：午後1時)</p> <p>② </p> <p>(例：起動湯量2、停止湯量4)</p>	<p>*30分きざみで設定できます。 *開始から終了まで22時間以上には設定できません。 *開始から終了まで2時間以上でないと設定できません。</p>
<p>6 P68の4~6の手順で貯湯量を設定する【予約モード設定完了】</p> <p>*終了時刻までが1時間以下の場合は起動開始をしません。</p>	<p></p>	<p>*画面が発電メニューに戻り、「入」時は約10秒後トップ画面に戻ります。</p> <p> </p> <p>(発電中のトップ画面例)</p>

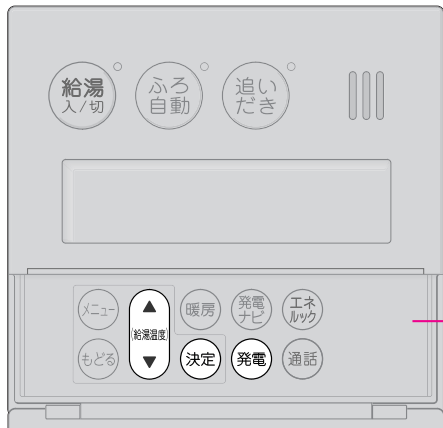
発電切に設定する

操作	操作後の画面	お知らせ
<p>1 ふたの中の を押す</p>	<p></p>	
<p>2 「発電モード」が選択されていることを確認し、 を押す</p>	<p></p>	
<p>3</p> <p>① で「発電切」を選択する</p> <p>② を押す</p>	<p>① </p> <p>② </p>	
<p>4</p> <p>① の で「はい」を選択する</p> <p>② を押す</p>	<p>① </p> <p>② </p>	<p>*画面が発電メニューに戻り、「入」時は約10秒後トップ画面に戻ります。</p> <p></p> <p></p> <p>(トップ画面例)</p>



*「発電切」点滅中(最大60分)は水抜きしないでください。また、電気・水・ガスも遮断しないでください。点灯後は可能です。
*「発電切」に設定しても発電停止完了までに **最大60分** かかります。

【台所リモコン】



ふたを開けた状態

手動発電に設定する

*「発電切」からは「手動」を設定できません。

1度「発電切」以外の発電モード(自動発電、貯湯量発電、予約発電 のいずれか)にした後、おこなってください。

操作	操作後の画面	お知らせ
<p>1 ふたの中の 発電 を押す</p>		<p>* 給湯入/切 の「入」「切」に関係なく、設定できます。</p>
<p>2</p> <p>① 給湯温度 で「手動」を選択する</p> <p>② 決定 を押す</p>	<p>① </p> <p>② </p>	
<p>3</p> <p>① 給湯温度 で「はい」を選択する</p> <p>② 決定 を押す</p>	<p>① </p> <p>② </p>	<p>* 画面が発電メニューに戻り、給湯入/切 「入」時は約10秒後トップ画面に戻ります。</p> <p></p> <p>(トップ画面例)</p> <p>* 貯湯量による制限のため手動発電ができないときに 決定 を押すと、「ピピピ」と鳴って手動発電ができないことをお知らせします。「設定できません」の画面も出ます。</p>

● 手動発電をやめたいとき

① 手順1～2をおこなう

- ② **給湯温度** で「はい」を選び、
決定 を押す

①

②

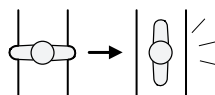
* 画面が発電メニューに戻り、**給湯入/切** 「入」時は約10秒後トップ画面に戻ります。

初めてお使いになるときは

*初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

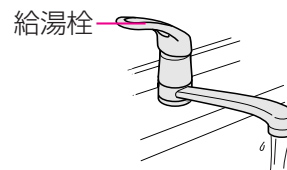
1 貯湯ユニットの配管カバーのねじ(4か所)を外し、配管カバーを開ける

2 貯湯ユニットの給水元栓を全開にする

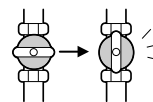


3 給湯栓を開けて水が出ることを確認し、再度閉める

*水の出はじめに異音がしたり、流量が安定しない場合は、P111「水抜き後の再使用のとき」の操作をしてください。



4 燃料電池ユニットのガス栓と貯湯ユニットのガス栓を全開にする



5 燃料電池ユニット専用のブレーカーと、貯湯ユニットの電源(ブレーカーまたは電源プラグ)が「入」になっていることを確認する(☞P22)

6 貯湯ユニットの配管カバーを元どおり取り付ける

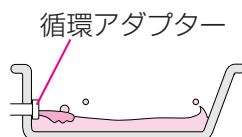
7 契約アンペアの設定を確認する(☞P74)

8 浴室リモコンでポンプの呼び水をする

1. 給湯入/切を「入」にする

2. ふろ自動を「入」にする

3. 浴槽の循環アダプターから水が出てくることを確認する



*リモコンに表示「111」が出たときは、給湯スイッチをいったん「切」にし、もう一度手順8の1.よりやり直してください。

4. ふろ自動を「切」にする

【浴室リモコン】



9 発電モードを「発電切」以外の発電モード(自動発電、貯湯量発電、予約発電のいずれか)に設定する(☞P67~P69)